

センサを活用したIoTアプリケーション開発技術 (農業編)

定員	10名
受講料	15,000円/名

コース番号	日程	実施時間
3D030	[2日間]	各日9:30~16:30

訓練内容

農業や関連業種におけるIoTの一例として、気温・湿度・日照度などをリアルタイムに計測し、その情報を収集・保存することが考えられます。また、収穫物の画像を収集・蓄積し、AIを使った分類モデルの構築に役立てることも考えられます。さらに、人手不足や高齢化などに対応するため、作業者の安全を確保する人のモニターシステムも重要な項目ではないでしょうか。

本セミナーでは、農業や関連業種を想定した教材を使用し、IoTシステムを構築します。温湿度などの計測をおこない、可視化、メールなどによる通知システムの構築までを学んでいただきます。また、AIへの発展についても解説させていただきます。受講にあたり、プログラミングの知識は必要ありません。ノンコードと呼ばれる、プログラムを書かないツールを使用しますので、未経験の方でも大丈夫です。


1. DX (デジタルトランスフォーメーション) とIoT
2. 農業や関連業種とIoT
3. センサを用いたデジタル情報の収集
気温、湿度、日照度、土壌水分、
作業者の姿勢など
4. 可視化、通知システム
5. 収穫物の画像収集とAI活用の紹介
6. ワークショップ
7. まとめ



対象者 IoTアプリケーション構築に従事する技能・技術者等であって、指導的・中核的な役割を担う者又はその候補者

主な使用機器 センサ、IoTシステム、パソコン **持参品** 筆記用具

備考 プログラム未経験の方でも大丈夫です。理系・文系の方を問わず受講いただけます。

オススメポイント  農業の場面を想定した教材を使用して、IoTシステム構築を学んでいただけるコースです。